

款	教育費	項	教育総務費
---	-----	---	-------

情報教育関係事業

(継続)

担当	教育委員会 学務課
----	--------------

予算額		11,305		(単位：千円)			
財源内訳	特定財源	国県支出金		事業期間	平成25年度～平成29年度	全体事業費	199,444
		地方債		施策の大綱	2-5 心の豊かさとかくましさを育む教育の推進と、子どもや市民の明るさがあふれるまちづくり		
		その他		施策名	1 生きる力を育む学校教育の充実		
		一般財源	11,305	施策の内容	6 社会の変化に適切に対応できる教育の推進		

事業の目的

小中学校へICT機器を整備し、より良い学習環境を整え、教育の充実を図ります。

事業の概要

電子黒板等を小学校及び中学校の全普通教室及び理科教室に配置するとともに、小中一貫教育を推進するためWEB会議システムを整備します。

平成25年度から平成29年度の5か年で、全普通教室及び理科教室への電子黒板等の配置が完了します。

【これまでの経緯】

◎電子黒板配置状況 (単位：台)

年度	配置場所	配置台数
平成25年度	二中・三中地区小中学校	54
平成26年度	六中・都和中地区小中学校	46
平成27年度	一中・四中地区小中学校	100

※平成25年度～平成26年度：小学校5,6年生及び中学校の全普通教室に配置

平成27年度～平成29年度：小学校1年～中学校3年生の普通教室及び小中学校の理科教室に拡大して配置

【今年度事業内容】

平成28年度 配置場所：五中・二中地区小中学校 配置台数：76台

【今後の事業内容】

平成29年度 配置場所：三中・六中・都和中・新治中地区小中学校 配置台数：101台



ICTを活用した授業風景

期待される効果・成果目標等

ICTの効果的な活用により、児童生徒の興味関心を高め、課題を明確に把握することが容易になり、知識の定着を図ることができます。また、WEB会議システムの導入により、各学校の教職員の意思疎通や共通理解が図られるとともに、交流授業においては、児童生徒が互いに教え合い学び合うことで、学力の向上を図ることができます。

款	教育費	項	小学校費
---	-----	---	------

小学校／中学校施設非構造部材耐震化事業

(継続)

担当	教育委員会 教育総務課
----	----------------

予算額		200,000		(単位：千円)			
財源内訳	特定財源	国県支出金	66,662	事業期間	平成26年度～平成31年度	全体事業費	673,109
		地方債	132,600	施策の大綱	2-5 心の豊かさとたくましさを育む教育の推進と、子どもや市民の明るさがあふれるまちづくり		
		その他		施策名	1 生きる力を育む学校教育の充実		
		一般財源	738	施策の内容	10 学校施設の整備・充実		

事業の目的

東日本大震災の際に各地で被害が顕在化した、学校施設の非構造部材の落下防止等対策を推進します。

事業の概要

【これまでの経緯】 平成27年度末までにつり天井である小中学校の屋内運動場10校について施工しました。

[対象校] 小学校3校：神立小，都和南小，乙戸小

中学校7校：一中，二中，三中，四中，五中，六中，都和中

【今年度事業内容】 つり天井以外の小学校の屋内運動場8校のうち6校について、ガラス飛散防止、照明器具及び設備類の固定化を行います。

[対象校] 小学校6校：下高津小，荒川沖小，真鍋小，大岩田小，中村小，都和小

【今後の予定】 平成29年度

[対象校] 小学校2校：東小，右籾小



工事前



工事完成後

期待される効果・成果目標等

屋内運動場の非構造部の耐震化により、非常災害時の避難場所にも指定されている学校建物の安全性を確保するとともに、児童の安心安全な学習環境の向上に寄与します。

款	教育費	項	教育総務費／小学校費／中学校費
---	-----	---	-----------------

新治地区小中一貫教育学校整備事業

(継続)

担当	教育委員会 教育総務課
----	----------------

予算額		655,244				(単位：千円)	
財源内訳	特定財源	国県支出金	105,572	事業期間	平成26年度～平成29年度	全体事業費	2,728,363
		地方債	424,700	施策の大綱	2-5 心の豊かさとかたくましさを育む教育の推進と、子どもや市民の明るさがあふれるまちづくり		
		その他		施策名	1 生きる力を育む学校教育の充実		
		一般財源	124,972	施策の内容	1.1 小中学校の適正配置		

事業の目的

藤沢小，斗利出小，山ノ荘小の3小学校を1校に統合し，新治中学校敷地内に本市初の施設一体型の小中一貫校を整備します。

事業の概要

【これまでの経緯】

基本計画策定委員会の提言に基づき，平成26～27年度の2か年で，校舎の増築，既存校舎・屋内運動場の改修，グラウンドの改修等の基本・実施設計を実施しました。

【今年度事業内容】

平成28年9月に着工予定で，平成30年度に供用開始を目指しています。

「新治地区小中一貫校開校準備協議会」では校歌，校章，校旗の制定及び通学対策など，引き続き開校に向けた地元協議を進めていきます。



完成予想図

施設一体型の小中一貫教育学校における教育内容については，「小中一貫教育運営協議会」で検討します。

【今後の予定】

平成28年度の事業費 (単位：千円)

工種	平成28年度	平成29年度
校舎増築工事 既存校舎改修工事	←	→
体育館・外構等 改修工事		↔

区分	概要	事業費
報償費	校歌，校章制作	500
役務費	建築確認等計画通知手数料	473
委託料	工事監理委託料	9,319
工事請負費	増築工事，既存校舎改修工事	643,952
備品購入費	校旗購入	1,000
	計	655,244

期待される効果・成果目標等

施設一体型の小中一貫教育学校を整備することで，9年間の連続した学びとともに日常的に異学年交流等が図られることから，児童生徒の社会性や協調性の向上につながります。さらに，小中学校教員の連携が図られることから，より良い生徒指導体制を確立することができます。

款	教育費	項	社会教育費
---	-----	---	-------

「大畑からかさ万灯」記録調査事業 (新規)

担当	教育委員会 文化課
----	--------------

予算額		2,202				(単位：千円)	
財源内訳	特定財源	国県支出金	1,100	事業期間	平成28年度	全体事業費	2,202
		地方債		施策の大綱	2-5 心の豊かさとたくましさを育む教育の推進と、子どもや市民の明るさがあふれるまちづくり		
		その他		施策名	4 文化・芸術活動の振興		
		一般財源	1,102	施策の内容	3 文化財の保護と活用		

事業の目的

「大畑からかさ万灯」は、記録作成の措置を講ずべき無形の民俗文化財として、国選択無形民俗文化財に認定されています。このような地域に残る伝統的な民俗行事の記録調査を行い、報告書を刊行することで継承のための資料として活用に資するとともに、魅力ある地域資源の情報発信を図ります。

事業の概要

【これまでの経緯】

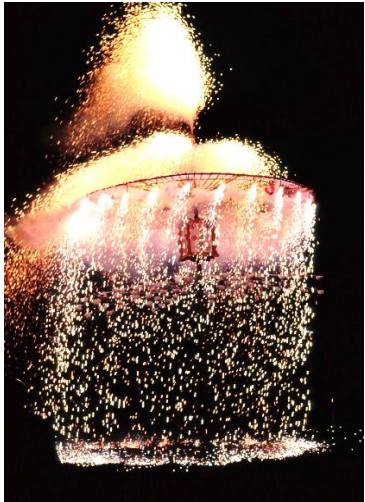
- 昭和37年 「からかさ万灯」が茨城県指定文化財に指定。
- 昭和57年 「大畑からかさ万灯」の名称で国選択無形民俗文化財に認定。
- 平成27年 文化庁の「変容の危機にある無形の民俗文化財の記録作成の推進事業」に係る映像記録制作の対象となる。

【今年度事業内容】

「大畑からかさ万灯」は、五穀豊穰・家内安全と雨乞いの祈願をこめて、江戸時代中期頃から行われてきた花火行事で、毎年8月15日に開催されています。

平成27年度に文化庁が記録映像を制作することに伴い、学術的調査報告書については、今年度に本市が主体となって作成するものです。

※「民俗文化財調査費国庫補助要項」に基づく補助金を活用します。



「からかさ万灯」の花火

期待される効果・成果目標等

記録映像と調査報告書を作成することにより、貴重な無形民俗文化財を後世に伝えていくことができます。

款	教育費	項	社会教育費
---	-----	---	-------

武者塚古墳出土品保存台製作事業

(新規)

担当	上高津貝塚ふるさと歴史の広場
----	----------------

予算額		2,290		(単位：千円)			
財源内訳	特定財源	国県支出金	1,144	事業期間	平成28年度～平成29年度	全体事業費	7,018
		地方債		施策の大綱	2-5 心の豊かさとたくましさを育む教育の推進と、子どもや市民の明るさがあふれるまちづくり		
		その他	1,146	施策名	4 文化・芸術活動の振興		
		一般財源	0	施策の内容	4 埋蔵文化財の保護と活用		

事業の目的

平成26年に国の重要文化財に指定された「茨城県武者塚古墳出土品」について、貴重な文化遺産として後世のために長く保存することで、本市の教育普及事業の更なる充実を図ります。

事業の概要

【今年度事業内容】

資料の中でさび等が発生したため、保存処理の必要のあるものに適正な保存処理を行い、専用の展示ケースを製作します。



銀带状金具



銅装三累環頭大刀



鉄製大刀

【今後の予定】

平成29年度は、保存処理の必要のない資料に対して、専用の展示ケースを製作します。また、全国にも類例の無い古墳時代人の髪型「美豆良（みずら）」に対して調査研究を行い、最も適正な保存処理と保存ケースの作成を実施します。

期待される効果・成果目標等

武者塚古墳は、今から約1,400年前に造られた豪族の墓で、埋められたままの状態を保ち、発見されました。この出土品は、当時の社会を考える上で一級の重要資料であり、末永く保存することで、市の宝として展示等の教育普及事業に役立てることが出来ます。

款	教育費	項	社会教育費
---	-----	---	-------

重要資料公開推進事業／特別展・企画展事業

(継続)

担当

博物館、上高津貝塚
ふるさと歴史の広場

予算額		6,390		(単位：千円)			
財源内訳	特定財源	国県支出金		事業期間	平成28年度	全体事業費	6,390
		地方債		施策の大綱	2-5 心の豊かさとたくましさを育む教育の推進と、子どもや市民の明るさがあふれるまちづくり		
		その他		施策名	4 文化・芸術活動の振興		
		一般財源	6,390	施策の内容	6 博物館・上高津貝塚ふるさと歴史の広場活動の充実		

事業の目的

特別展やテーマ展、企画展などの展示を通して、本市の歴史や文化遺産の調査研究成果を広く公開・発信し、国宝や重要文化財など貴重な資料を身近に感じる機会をすることで、市民の生涯学習に対する要望に応えるとともに、地域の文化向上に寄与します。

事業の概要

【今年度事業内容】

◎重要資料公開推進事業（博物館）

- ・第37回特別展「まちのしるし ―しるしが語る土浦の近代―」 平成28年3月19日（土）～平成28年5月8日（日）
- ・第38回特別展「（仮）常総の仏教500年」 平成29年3月～平成29年5月（予定）

商標などの「しるし」からみた近代土浦のまちのにぎわいや、土浦を含む常総の地に伝わった古代の仏教とその信仰について、様々な資料を通して紹介します。そのほか、特別公開「土屋家の刀剣 ―国宝・重要文化財の公開―」，テーマ展「藤森弘庵―土浦藩士十三年の足跡―」などを開催します。

◎特別展・企画展事業（上高津貝塚ふるさと歴史の広場）

- ・第19回企画展「（仮）植物利用の歴史」 平成28年10月～平成28年12月（予定）

人は、太古の昔より、身近にある植物を利用して生活してきました。縄文時代から江戸時代にかけて、人と植物の関わりについて、最新の調査研究成果を踏まえ、紹介します。



市内出土の瓦塔・瓦堂
(平安時代)

期待される効果・成果目標等

市内の歴史や文化に関わる資料を調査研究し、その成果を公開することにより、市民の地域文化への理解が深まるとともに、更なる文化財保護の契機となることが期待されます。

款	教育費	項	社会教育費
---	-----	---	-------

新図書館施設整備事業／美術品展示室整備事業 (継続)

担当	教育委員会 図書館、文化課
----	------------------

予算額		1,419,132		(単位：千円)			
財源内訳	特定財源	国県支出金	684,900	事業期間	平成25年度～平成29年度	全体事業費	3,983,239
		地方債	658,350	施策の大綱	2-5 心の豊かさとたくましさを育む教育の推進と、子どもや市民の明るさがあふれるまちづくり		
		その他	20,064	施策名	2 自己実現を最大限尊重する生涯学習の振興, 4 文化・芸術活動の振興		
		一般財源	55,818	施策の内容	4 新図書館の整備・推進, 2 文化施設等の整備充実		

事業の目的

土浦駅前北地区市街地再開発事業の複合施設として、市民の生涯学習活動や芸術文化活動の拠点となるとともに、街や人を元気にする交流拠点として、集客やにぎわいを創出する新しい図書館及び本市初となる美術品展示室（ギャラリー）の整備を図ります。

事業の概要

【これまでの経緯】	平成25年度 基本設計, 26年度 実施設計, 27年度 実施設計修正					
【今年度事業内容】	◎図書館	・ 建築工事	712,434千円	◎ギャラリー	・ 建築工事	246,534千円
		・ 工事監理	10,566千円		・ 工事監理	3,466千円
		・ 駅北特会繰出金	391,618千円		・ 消耗品購入	5,000千円
					・ 駅北特会繰出金	49,514千円
【今後の予定】	土浦駅前北地区再開発事業に合わせて、内装及び設備工事、備品購入、運営体制の検討、移転作業等を進め、平成29年度のグランドオープンを目指します。					
						
	図書館完成イメージ			ギャラリー完成イメージ		

期待される効果・成果目標等

新図書館においては、快適で魅力的な読書空間をつくり、多様なニーズに応えることにより、市民生活への支援と生涯学習活動のより一層の拡大・充実を図ります。また、ギャラリーは、絵画などの収蔵品を生かした展覧会や市民の文化芸術活動の発表の場として、市民が芸術文化と触れ合う機会を提供します。新図書館・ギャラリーと民間業務施設など施設全体が連携を図ることにより、多くの市民の交流やにぎわいを生み出し、中心市街地の活性化に寄与します。

款	教育費	項	保健体育費
---	-----	---	-------

水郷プール再整備事業 (継続)

担当	教育委員会 スポーツ振興課
----	------------------

予算額		59,692		(単位：千円)			
財源内訳	特定財源	国県支出金		事業期間	平成24年度～平成28年度	全体事業費	2,060,055
		地方債		施策の大綱	2-5 心の豊かさとたくましさを育む教育の推進と、子どもや市民の明るさがあふれるまちづくり		
		その他	55,335	施策名	5 適正な公共施設の維持管理と整備		
		一般財源	4,357	施策の内容	3 スポーツ・レクリエーション施設の整備・充実		

事業の目的

東日本大震災で被害を受けた水郷プールについて、規模を縮小し、屋外型の市民プールとして現在地に再整備し、リニューアルオープンします。

事業の概要

- ◎プール施設の概要
- ・流水プール : 延長 270.5m, 幅 6.0m
 - ・多目的プール : 25m×8コース
 - ・ちびっ子プール : 376㎡
 - ・直線スライダー : 延長 30.8m×3レーン
 - ・チューブスライダー : 延長 80.7m×1レーン, 延長 50.2m×1レーン
 - ・管理棟 : 1棟 (鉄筋造2階建て 899.51㎡) □
- ◎供用開始時期 : 平成28年7月中旬
- ◎維持管理経費
- ・建物損害共済保険料 : 113千円
 - ・プール管理委託料 : 59,190千円
 - ・機械警備委託料 : 389千円



水郷プール 完成イメージ

期待される効果・成果目標等

水郷プールを再整備することにより、市民の健康の維持・増進及びスポーツ・レクリエーション施設の充実を図ります。

款	教育費	項	保健体育費
---	-----	---	-------

川口運動公園野球場観覧席，夜間照明灯及び関連施設整備事業（継続）

担当	教育委員会 スポーツ振興課
----	------------------

予算額		1,309,008		（単位：千円）			
財源内訳	特定財源	国県支出金	94,249	事業期間	平成26年度～平成29年度	全体事業費	2,188,728
		地方債	910,900	施策の大綱	2-5 心の豊かさとたくましさを育む教育の推進と，子どもや市民の明るさがあふれるまちづくり		
		その他		施策名	5 適正な公共施設の維持管理と整備		
		一般財源	303,859	施策の内容	3 スポーツ・レクリエーション施設の整備・充実		

事業の目的

老朽化が著しく，狭あいな野球場の観覧席を新設します。また，平成31年度の茨城国体で軟式野球の会場として予定されていることから，併せて夜間照明灯の整備を実施します。

事業の概要

【これまでの経緯】

平成26年度：観覧席基本・実施設計委託及び観覧席改修地質調査委託を実施しました。
平成27年度：既存観覧席の解体工事を行い，観覧席整備工事及び夜間照明灯設置工事に着手しました。

【今年度事業内容】

- ◎野球場整備の概要
- ・ 収容人数（内野席）：約10,000人
 - ・ 延床面積：8,294㎡
 - ・ 夜間照明灯：ナイター照明設備 4基
- ・ 平成27年度～平成29年度の3か年で継続費を設定し，観覧席整備工事，夜間照明灯整備工事を行っています。
- ・ グラウンド整備工事（土の入替え）を平成28年度に行います。



川口運動公園野球場完成イメージ

【今後の予定】

供用開始時期は，平成29年7月の予定です。

期待される効果・成果目標等

利用者の利便性，観客の観戦環境の向上及び安心・安全な施設運営に寄与します。

款	教育費	項	保健体育費
---	-----	---	-------

学校給食センター再整備事業 (継続)

担当	教育委員会 学務課
----	--------------

予算額		20,835	(単位：千円)			
財源内訳	特定財源	国県支出金	事業期間	平成24年度～平成31年度	全体事業費	3,810,630
		地方債	施策の大綱	2-5 心の豊かさとたくましさを育む教育の推進と、子どもや市民の明るさがあふれるまちづくり		
		その他	施策名	1 生きる力を育む学校教育の充実		
		一般財源	20,835	施策の内容	8 学校給食の充実	

事業の目的

第一及び第二学校給食センターについては、施設設備の老朽化が著しく、また、耐震基準を満たしていないことなどから、新たな用地に1センター方式で再整備をします。

事業の概要

【これまでの経緯】

- 平成24～25年度 再整備基本構想策定
- 平成25年度 事業手法検討調査実施

【今年度事業内容】

- プロポーザル実施要領等策定研究旅費 35千円
- 基本・実施設計・地質調査委託料(平成28～29年度の2か年で継続費を設定)
- 土地測量委託料 4,800千円



第一学校給食センター
(築46年)



第二学校給食センター
(築41年)

(単位：千円)

平成28年度	平成29年度	計
16,000	64,000	80,000

【今後の予定】

- 供用開始 平成31年9月 (予定)

期待される効果・成果目標等

新しい給食センターを整備することにより、安心・安全でおいしい学校給食を継続して提供することができます。また、食物アレルギーを持つ児童・生徒への対応も可能な施設であるとともに、地産地消や食育の推進にも寄与します。